

● 看護師の立場での技師の タスク・シフト／シェア ～副看護師長の立場から～

熊本大学病院 副看護師長 | 草野裕美

医師の働き方改革に向けて、2024年4月から医師にも時間外労働の上限が適用されるため、タスク・シフト／シェアの導入が急がれている。2021年10月1日から施行された新たな診療放射線技師法によって、診療放射線技師の新たな業務に6項目が追加された。自施設は、静脈注射と抜針RI投与におけるタスク・シフト／シェアの推進を行い、より良い協働と、有事の際にも、持続可能な医療提供体制への一歩となった。タスク・シフト／シェアとは医療従事者の合意形成のもとで業務移管や共同化することである。看護師から他の職種である診療放射線技師へのタスクシェアとなると、大規模の施設ほど、職種を超えて合意形成するというのは難しいのが現状である。当院ではタスク・シフト／シェアに取り組み半年経っている。その経過と成果について、当院の取り組みを交えて紹介する。

In order to reform the work style of doctors, the upper limit of overtime work will be applied to doctors from April 2024, so the introduction of task shift/sharing is urgent. The new Radiological Technologists Act, which came into effect on October 1, 2021, added six items to the new duties of radiological technologists. The facility promoted task shift/sharing in intravenous injections and needle removal, which was a step towards better collaboration and a sustainable healthcare delivery system in the event of an emergency. Task shift/share is the transfer or collaboration of work based on consensus building among healthcare professionals. When it comes to task management from nurses to other occupations, technicians, it is difficult to build consensus across occupations as large facilities as it is at large. At our hospital, it has been half a year since we worked on and introduced Task shift/sharing. We will introduce the progress and future issues with our efforts.

● はじめに

医療制度改革や少子超高齢化、生産年齢世代の減少を背景に、2024年の医師の勤務時間上限規制に向けて、タスク・シフト／シェアが推進されている。当院では、2009年の厚労省の通達を機に、「造影検査やRI投与のための血管確保、抜針」は、医師から看護師へ業務拡大した。そして、新たな法改正により、告示研修

を受けた診療放射線技師へタスク・シフト／シェアが実施可能となった。当初、看護師から他職種へのタスク・シフト／シェアは大規模の病院ほど進んでいないのが現状であった。そのため参考となる他施設の情報が少ない中、看護師長の命を受け、副看護師長そしてIVナースインストラクターとして、スタッフとともに患者の安全と効率を最優先に、抜針・血管確保のタスク・シフト／シェアに取り組んできた。当院の取り組みおよび半年たった今の現状と成果について紹介する。

● タスク・シフト／シェアは 新たなことへの挑戦、 不安は当然

看護師は27名、子育て中のスタッフが多く、短時間勤務者が半数を占める。

造影やRI投与のため、血管確保、抜針が年間1万件以上にのぼり、夕方からは重症患者が多く看護師はより細かな観察やスムーズな対応を要す。安全と円滑な検査のためにもタスク・シフト／シェア